進路だより

福島県立あぶくま支援学校
進路指導部通信　　第１号
2022 年 7 月 20 日　発行

１学期を終えて

進路指導主事　　若松伸司

新型コロナウィルス感染症に注意を払いながらの生活が続いている状況で始まった令和４年度も１学期を終えようとしています。６月中旬には高等部、６月下旬には中学部の校内実習が、５月中旬からは高等部３学年の進路決定に向けての特別実習が実施されました。感染予防対策を講じながら、生徒たちの社会生活・就労生活の知識・技能を習得できるよう例年通りの実習を実施できたことは進路決定に向け、大切な機会になったことと思っています。実習後はそれぞれの活動を振り返り、今後の学習への取り組みについてまとめることができました。

本年度も保護者の方々や教師が一緒に活用できる進路指導の手引きの作成を目指し、内容の見直しを図りながら６月に発行し配付いたしました。今年度は卒業生の動向についての情報を追加で掲載したり、地域で利用できる福祉サービス内容について付け加えて作成いたしました。進路の手引きは日頃からの学習や様々な経験を進路実現に向けられるよう、進路指導の内容や進路に関する用語の解説などを記載しています。ポイントの部分を中心にぜひご覧いただき、役立てていただければと思います。

「 がんばった中学部前期校内実習 」

中学部 進路指導部

中学部では、前期と後期の年２回校内実習を実施しており、今年度の前期校内実習は、６月２７日（月）～７月１日（金）までの５日間の日程で行われました。

中学部では、４月より２・３年生が木工・紙工・家庭・工芸の４つの班に分かれて、作業学習に取り組んでいます。校内実習は、この４つの班を継続し、木工班では「椅子」、紙工班では「封筒」「油取りパック」「ポチ袋」、家庭班では「バッグ」「箸入れ」、工芸班では「一閑張り」などの製作に取り組みました。１ 週間通しての作業学習でしたが、自分の担当する作業内容について理解し、最後まで粘り強く集中して製品作りに向け意欲的に取り組むことができました。今回の経験を今後の作業学習や後期校内実習にもつなげていきたいと思います。

〈木工班〉

〈家庭班〉

〈紙工班〉

〈工芸班〉

「 縁の下の力持ち～運動会編～ 」

小学部　進路指導部

小学部の運動会では、アナウンスを担当する「放送係」と、種目の物品を運ぶ準備係があります。５年生と６年生の中から、「やってみたい！」と希望のあった児童が集まり、６年生の競技中は５年生が、５年生の競技中は６年生が中心となって活動しました。キャリア発達段階の「自分の仕事に取り組む力と課題を解決する力」を目指し、小学部では「身近にある簡単な手伝いや係の仕事、当番活動に取り組む」というねらいをもって活動しました。はじめは、教師に指示されたことを行っていましたが、「もっと上手にアナウンスしたい。」と練習に励んだり、自分から気づいて準備物を片付けたりと、自分から主体的にやろうとする姿が多く見られるようになりました。予行練習の時には、下級生や先生方など会場の全員から「ありがとう。」の言葉をもらったことで、誰かのために「働く」ことの達成感や、感謝される喜びを味わうことができました。

〈放送係〉

〈準備係〉

＜高等部前期産業現場等における実習および校内実習について＞

今年度は６月６日(月)～６月１７日(金)の２週間、高等部２年生については前期産業現場等における実習、高等部１年生及び３年生については前期校内実習を実施いたしました。

新型コロナウイルス感染症の影響からマスク着用や手指消毒の徹底などの安全面に留意しながらの実習となりましたが、生徒の進路実現のため多くの企業や福祉サービス事業所の方にご協力いただき、実施することができました。前期産業現場等における実習、校内実習ともに、生徒が実習を通して自分の課題に向き合い、今後の目標をより具体的なものとする有意義な実習となりました。

前期産業現場等における実習

私は、株式会社宝来屋本店で産業現場等における実習を行い、甘酒の製品の箱詰めやペットボトルの供給作業、ギフト用味噌の作製など、様々な仕事を経験することができました。初めての産業現場等における実習だったため最初は緊張しましたが、宝来屋本店の社員の方々や工場の方々から優しく教えていただき、安心して仕事に取り組むことができました。

実習を通して、より多くの仕事をするために素早く行動すること、正確に仕事をすることが大切だと思いました。今後も作業学習の時に手際よく仕事をすること、報告を忘れずに行うこと、普段からはきはきと挨拶をすることを目標に生活していきたいです。

高等部２年２組　宇惠野　由美子

前期校内実習を終えて

私は、工芸班で実習をしました。目標は「大きな声で返事をする」「最後まであきらめないで集中して取り組む」でした。工芸班に入った頃よりも大きな声で返事ができるようになり、実習を通して集中力も上がりました。これからの目標は、今までよりも丁寧に作業をすることです。次の実習に向けて意識してがんばりたいです。

高等部一年一組　　坂口まりい

私は、窯業班で鋳込み、釉がけ、成型などをやりました。実習の目標は「仕事の終了時やミスをした時はすぐに担当の先生に報告する」「正しい言葉を遣う」でした。今回の実習では、敬語が以前より使えるようになりました。次回は「焦らず丁寧に作業する」ことを目標に働くことができるようにしたいです。

高等部一年一組　小椋　大樹

〈農園芸班〉

〈家庭班〉

〈基礎作業班〉

〈工芸班〉

〈産業班〉

〈木工班〉

〈清掃班〉

〈窯業班〉